

MHAM外国債券インデックスファンド

追加型投信／海外／債券／インデックス型

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「MHAM外国債券インデックスファンド」は、2019年5月8日に第9期の決算を行いました。

当ファンドは、F T S E 世界国債インデックス（除く日本）に採用されている国・地域の公社債に投資を行い、F T S E 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2018年5月9日～2019年5月8日

| | | |
|---------------------|---------------|---------|
| 第9期 | 決算日：2019年5月8日 | |
| 第9期末 (2019年5月8日) | 基準価額 | 14,306円 |
| | 純資産総額 | 89百万円 |
| 第9期 | 騰落率 | 0.8% |
| | 分配金合計 | 0円 |

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

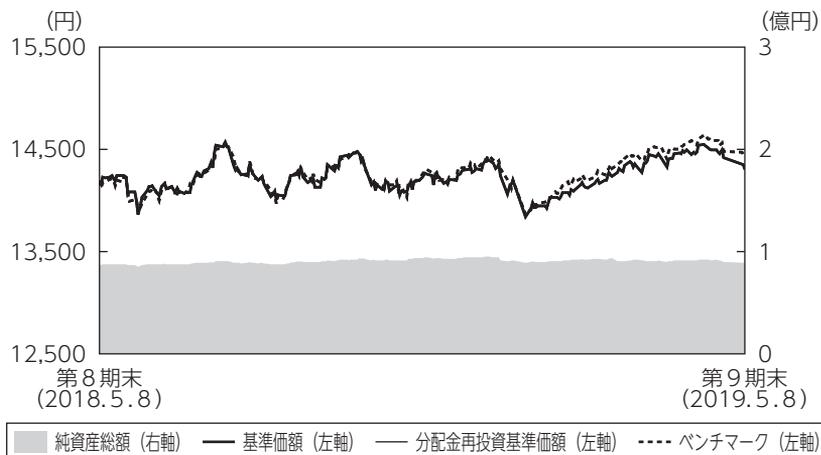
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（F T S E世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース））は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。なお、ベンチマークについては後掲の〈当ファンドのベンチマークについて〉をご参照ください。

基準価額の主な変動要因

MHAM外国債券インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、海外債券への投資を行った結果、米国やユーロ圏の債券市況が上昇（金利は低下）したことが寄与し、基準価額は上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

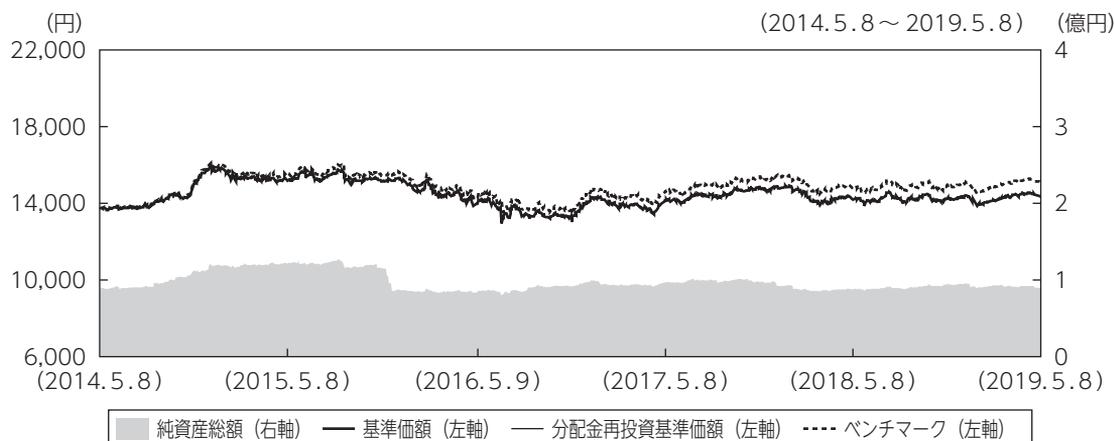
| 項目 | 第9期 | | 項目の概要 |
|-------------|---------------------------|---------|--|
| | (2018年5月9日 ～2019年5月8日) | | |
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 信託報酬 | 108円 | 0.756% | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は14,246円です。 |
| (投信会社) | (38) | (0.270) | 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 |
| (販売会社) | (62) | (0.432) | 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 |
| (受託会社) | (8) | (0.054) | 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | 0 | 0.001 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 |
| (先物・オプション) | (0) | (0.001) | 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料 |
| (c) 有価証券取引税 | － | － | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 |
| | | | 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (d) その他費用 | 8 | 0.057 | (d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (保管費用) | (7) | (0.048) | 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 |
| (監査費用) | (1) | (0.004) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 |
| (その他) | (1) | (0.005) | その他は、信託事務の処理に要する諸費用 |
| 合計 | 116 | 0.814 | |

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク (F T S E 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)) は、2014年5月8日の基準価額に合わせて指数化しています。

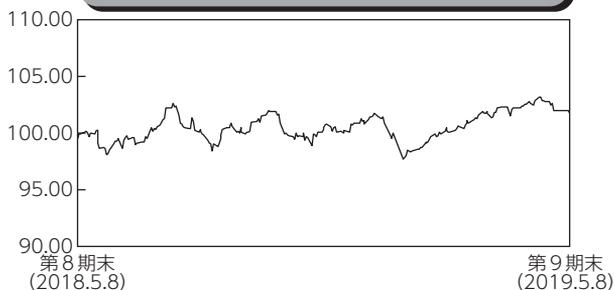
| | 2014年5月8日 期首 | 2015年5月8日 決算日 | 2016年5月9日 決算日 | 2017年5月8日 決算日 | 2018年5月8日 決算日 | 2019年5月8日 決算日 |
|--------------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 基準価額 (分配落) (円) | 13,778 | 15,203 | 13,951 | 14,108 | 14,190 | 14,306 |
| 期間分配金合計 (税引前) (円) | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分配金再投資基準価額の騰落率 (%) | — | 10.3 | △8.2 | 1.1 | 0.6 | 0.8 |
| ベンチマークの騰落率 (%) | — | 11.7 | △7.7 | 2.5 | 1.7 | 1.7 |
| 純資産総額 (百万円) | 88 | 121 | 83 | 96 | 87 | 89 |

(注) ベンチマークは、基準価額への反映を考慮して前営業日 (現地ベース) の値を用いております。

投資環境

● 海外債券市場と為替市場

FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) の推移



(注) 期首を100として指数化しています。

底堅い米国景気やF R Bが追加的に政策金利を引き上げたことなどを背景に米ドルが対円で上昇しました。もっとも2019年1月にはF R Bが金融政策の引き締めにより慎重姿勢を示したことなどから下落し、上げ幅は小幅となりました。欧州では、欧州景気の悪化懸念やイタリアの財政不安などがユーロ安要因となり、ユーロが対円で下落しました。

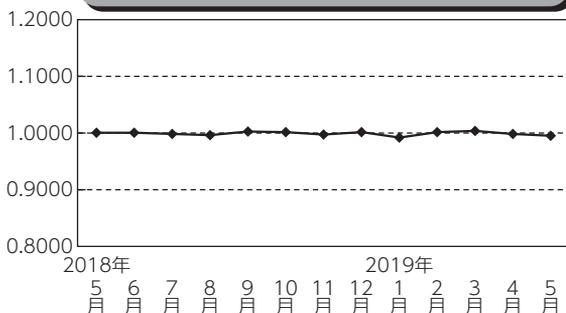
海外債券市場は、上昇しました。期首から10月にかけては、米欧の政治情勢や金融政策の動向などを睨みながら一進一退の展開となりました。11月以降は世界景気の減速懸念の強まりなどを背景に上昇基調で推移しました。米国では、米連邦準備制度理事会(F R B)が金融政策の引き締めにより慎重姿勢を示したことなども上昇要因となりました。欧州では、欧州中央銀行(E C B)のドラギ総裁がユーロ圏の景気が減速する見通しを示したことや、英国の欧州連合(E U)離脱を巡る不透明感なども上昇要因となりました。

為替市場は、まちまちとなりました。米国では、

ポートフォリオについて

● 当ファンド

月間連動率の推移



$$\text{月間連動率} = \frac{1 + \text{基準価額月間騰落率}}{1 + \text{ベンチマーク月間騰落率}}$$

(注) 月間連動率の2018年5月は対期首比、2019年5月は期末対2019年4月末比

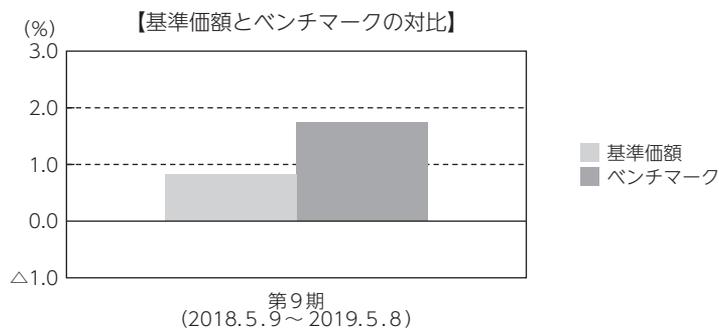
当期の運用につきましては、当ファンドの運用方針に従い、MHAM外国債券インデックスマザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持しました。

●MHAM外国債券インデックスマザーファンド

当期の運用につきましては、当マザーファンドの運用方針に従い、F T S E 世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)の動きに連動した投資成果を目指すため、ポートフォリオの構成を極力ベンチマークに近づけました。また、資金の流出入等に対応するため一部海外の債券先物取引を行っており、先物を含む海外債券の組入比率は期を通じて高位に保ちました。

■ベンチマークとの差異について

MHAM外国債券インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、海外債券への投資を行った結果、当ファンドの基準価額はベンチマークを0.9%程度下回りました。この差異は主に、ファンドとベンチマークで評価に用いられる為替レートが異なることと、信託報酬によるものです。



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

分配金

当期の収益分配金は、基準価額の水準や市況動向等を勘案した結果、分配を見送らせていただきました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

| 項目 | 当期 |
|------------|-------------------------|
| | 2018年5月9日 ～2019年5月8日 |
| 当期分配金（税引前） | -円 |
| 対基準価額比率 | -% |
| 当期の収益 | -円 |
| 当期の収益以外 | -円 |
| 翌期繰越分配対象額 | 4,985円 |

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

今後の運用につきましても、MHAM外国債券インデックスマザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持します。

●MHAM外国債券インデックスマザーファンド

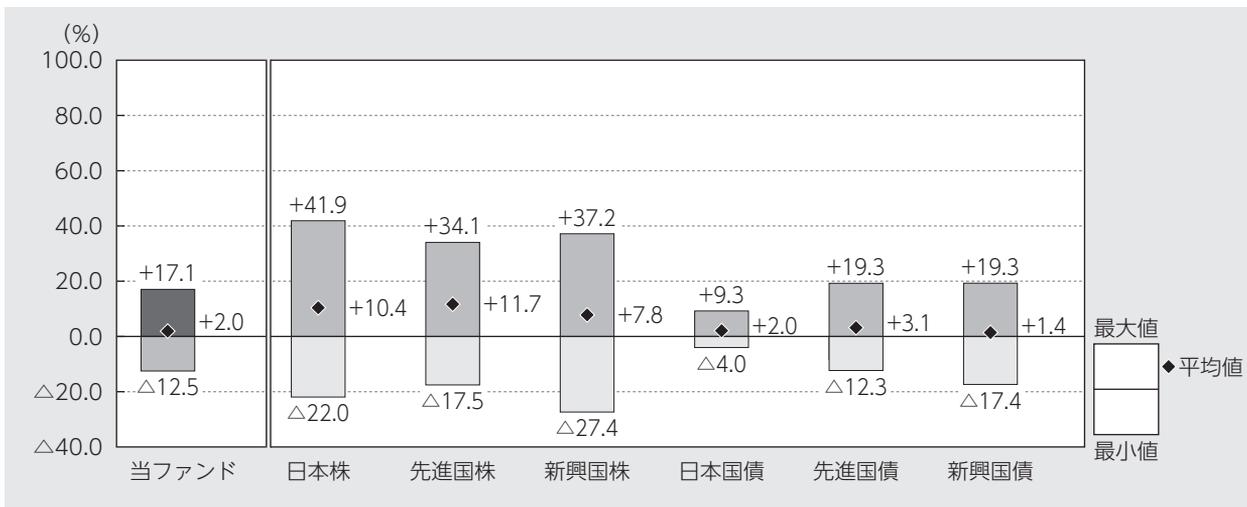
今後の運用につきましても、ポートフォリオの構成を極力、F T S E世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に近づけ、先物を含む海外債券の組入比率を高位に維持することにより、ベンチマークに連動する投資成果を目指します。

当ファンドの概要

| | | |
|--------|---|--|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／債券／インデックス型 | |
| 信託期間 | 2010年11月19日から無期限です。 | |
| 運用方針 | F T S E 世界国債インデックス（除く日本）に採用されている国・地域の公社債に投資を行い、F T S E 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）の動きに連動する投資成果を目指します。 | |
| 主要投資対象 | MHAM外国債券インデックスファンド | MHAM外国債券インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 |
| | MHAM外国債券インデックスマザーファンド | F T S E 世界国債インデックス（除く日本）に採用されている国・地域の公社債を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | 公社債への投資割合は、原則として高位を維持します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 | |
| 分配方針 | 毎年原則として5月8日に決算を行い、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は委託会社が基準価額の水準や市況動向等を勘案して決定します。 | |

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用しています。（ファミリーファンド方式とは、投資者の皆さまからお預かりした資金をまとめてペビ－ファンドとし、その資金をマザーファンドに投資することにより、その実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。）

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2014年5月～2019年4月

(注1) 上記のグラフは2014年5月から2019年4月の5年間における1年騰落率（毎月末時点における期間1年間の騰落率を5年（60ヵ月）分取得したデータ）の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。（グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。）なお、上記騰落率は直近の月末から60ヵ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額をもとに計算していますので、基準価額をもとに計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2019年5月8日現在）

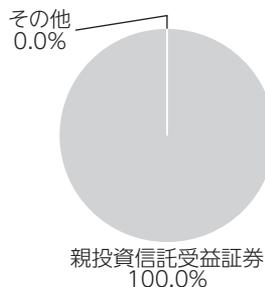
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：1ファンド)

| | 当期末 |
|-----------------------|-----------|
| | 2019年5月8日 |
| MHAM外国債券インデックスマザーファンド | 100.0% |

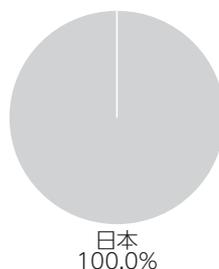
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

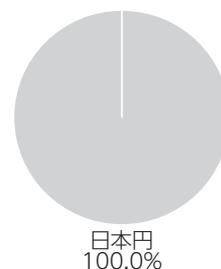
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計（除く現金）に対する割合です。

(注2) その他は100%と配分比率の合計との差になります。

純資産等

| 項目 | 当期末 |
|------------|-------------|
| | 2019年5月8日 |
| 純資産総額 | 89,142,816円 |
| 受益権総口数 | 62,312,759口 |
| 1万口当たり基準価額 | 14,306円 |

(注) 当期中における追加設定元本額は10,450,632円、同解約元本額は9,693,675円です。

組入ファンドの概要

【MHAM外国債券インデックスマザーファンド】（計算期間 2018年5月9日～2019年5月8日）

◆基準価額の推移



◆1万口当たりの費用明細

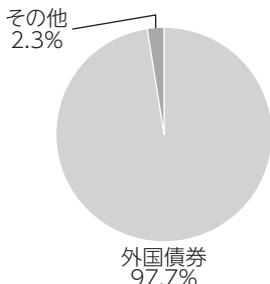
| 項目 | (2018年5月9日～2019年5月8日) | |
|------------------------------|-----------------------|-----------------------------|
| | 金額(円) | 比率(%) |
| 平均基準価額 | 12,543 | — |
| (a) 売買委託手数料 (先物・オプション) | 0 (0) | 0.001 (0.001) |
| (b) その他費用 (保管費用) (その他) | 7 (6) (1) | 0.052 (0.047) (0.005) |
| 合計 | 7 | 0.053 |

◆組入上位銘柄

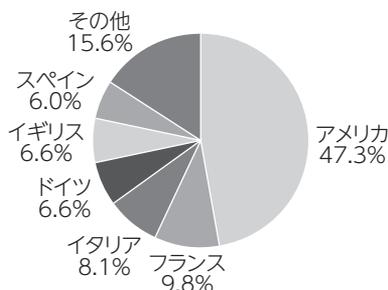
(組入銘柄数：675銘柄)

| 順位 | 銘柄 | 種別 | 通貨 | 利率 | 償還日 | 比率 |
|----|---------------|----|-----|--------|------------|-----|
| 1 | UNITED STATES | 国債 | 米ドル | 2.625% | 2020/08/31 | 1.8 |
| 2 | UNITED STATES | 国債 | 米ドル | 2.625% | 2020/11/15 | 1.2 |
| 3 | UNITED STATES | 国債 | 米ドル | 2.750% | 2021/09/15 | 1.1 |
| 4 | UNITED STATES | 国債 | 米ドル | 1.250% | 2021/03/31 | 1.0 |
| 5 | FRANCE | 国債 | ユーロ | 3.000% | 2022/04/25 | 0.7 |
| 6 | UNITED STATES | 国債 | 米ドル | 2.625% | 2021/12/15 | 0.7 |
| 7 | UNITED STATES | 国債 | 米ドル | 2.000% | 2022/11/30 | 0.7 |
| 8 | UNITED STATES | 国債 | 米ドル | 1.875% | 2022/03/31 | 0.6 |
| 9 | ITALY | 国債 | ユーロ | 5.000% | 2025/03/01 | 0.6 |
| 10 | NETHERLANDS | 国債 | ユーロ | 2.250% | 2022/07/15 | 0.6 |

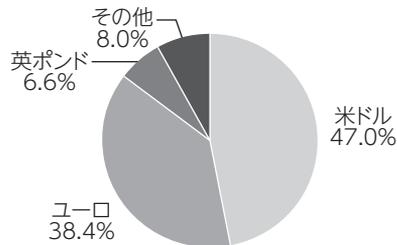
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は当マザーファンドの直近の計算期間末のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細は当マザーファンドの直近の決算期のものであります。費用の項目の概要については2頁をご参照ください。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計（除く現金）に対する割合です。

(注4) その他は100%と配分比率の合計との差になります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

＜当ファンドのベンチマークについて＞

●FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

「FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。